

大阪市立 野田中学校 キャリア教育の取り組み 「課題解決型学習」に ファミリーマートが協力

第1回課題提議授業レポート
2015年11月6日

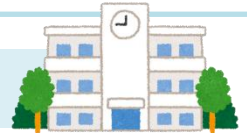
ファミリーマートは次世代を担う子どもたちの育成支援に取り組んでおり、その一環として、社員が講師となり小学校や中学校、高校に出向いて講義する「出前授業」を行っています。

今回はファミリーマート関西第2ディストリクトの社員3名が、大阪市立野田中学校2年生の19名に地域社会が抱える課題を考える授業を行いました。



ファミリーマートの役割や地域社会が抱える課題と次世代のコンビニエンスストアについて説明する
関西第2ディストリクト 野崎統括部長

ファミリーマート社員が先生となり、授業を行いました！



大阪市立野田中学校ではキャリア教育の一環として、本年度より「課題解決型学習」に取り組んでいます。この授業は地域や企業が抱える課題に対して、生徒の皆さんが4ヶ月間にわたりグループワークや意見交換を行い、解決の方法を提案するという内容で、社会への関心を高めコミュニケーションの大切さや社会的規範について学ぶことを目的とするものです。

ファミリーマートは、地域社会が抱える課題を解決する方法を生徒と一緒に考え、実践していきたいという気持ちから、この課題解決学習に協力させていただきました。

2016年3月まで4ヶ月にわたる第1回の授業が11月6日、野田中学校2年生19名を対象に行われ、社員3名が、ファミリーマートの概要や店づくり、商品の特征について知ってもらった上で、生徒の皆さんへ課題提供を行いました。



「店舗構造の変化」について説明する
関西第2ディストリクト 開発2課 田口課長



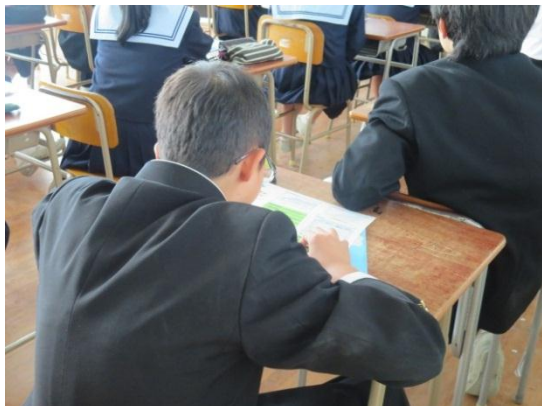
「サービス・商品の変化」についての説明する
関西第2ディストリクト 大阪西営業所 古賀所長

熱心に聞き入る姿に、課題解決学習への意欲を感じました！

第1回目の授業では、初めて知るコンビニエンスストアの仕組みに真剣に聞き入り、積極的に質問するなど、これから取り組む課題解決学習に対する意欲を感じられました。

この後4ヶ月間にわたり、グループ討議などの協働学習を通じて「10年先、地域社会が抱える問題を解決し、お客さまに喜んでいただけるファミリーマート」について考え、最後の授業で生徒たちのプレゼンがあります。

4ヶ月後、どのような提案ができるのか、とても楽しみです。



資料を見ながら真剣に話を聞く生徒の皆さんの姿に、課題解決学習への意欲を感じました。



クイズを交えながらファミリーマートについて学んでいます。

ファミリーマートからの課題

10年先、地域社会が抱える課題を解決し、お客さまに喜んでいただけるファミリーマートを一緒に考えよう！

課題解決学習プログラム

課題提供

ファミリーマートから課題を提供

協働学習の実施

問題点の把握・グループ討議・仮説取りまとめ

中間発表

ファミリーマートへの進捗報告

発表準備

仮説の修正と結論とりまとめ

結論発表

ファミリーマートへ結論の発表

<大阪市立野田中学校 森川校長先生より>

野田中学校では、素直で仲間に思いやりを示すことができる生徒が数多く学んでいます。今後はさらに自らの意見を積極的に発表するとともに他人の意見を理解することや社会の仕組み、地域の出来事に関心を高めることで、コミュニケーション力や主体性及び社会性を育てていきたいと考え、今年度より地域と連携した課題解決学習を導入しました。ファミリーマート様には、中学生が一人前の社会人に向けて成長していくうえで不可欠な学びの機会をご提供いただき、大変感謝しております。

<関西第2ディストリクト統括部長 野崎勝久>

どのように伝えれば、中学2年生の皆さんに、分かり易く、また、興味を持ってコンビニエンスストアの10年先を考えてもらえるか、古賀所長・田口課長と準備を進める中、伝えたいこと、知ってほしいことがどんどん溢れ、想像以上に3人とも熱を持って準備に取り組むことになりました。当日は、生徒の皆さんに、「ファミリーマートの社員になったつもりで考えてほしい」と伝えました。日常利用するだけのコンビニから、考える対象のコンビニとなり、「10年先のファミリーマート」の素晴らしいアイデアが生まれることを楽しみにしています。